

位相制御調光器（逆位相タイプ）

DNL
DNライティング株式会社

BDC300GS

(100V, 50/60Hz共用)

取扱説明書

保存用

お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。
取付工事には電気工事士の資格が必要です。必ず電気工事店へご相談ください。
この説明書は取付工事が終わりましたら製品をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

24年03月15

営業本部/東京都品川区西五反田1-13-5 : 03-3492-4460 最新の連絡先はホームページhttp://www.dnlighting.co.jpをご確認ください。

安全上の注意

警告

- 取付工事のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
- 調光機器の分解、改造は絶対にしないでください。故障、感電、火災の原因となります。
- 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- 調光機器の隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 調光機器には指定電力(W)を超えるLEDモジュール(LED照明器具)は接続しないでください。故障、火災の原因となります。
- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。
- 電源を接続する場合、ゆるみ、抜けないように確実に接続してください。接続が不完全ですと、漏電、地絡、感電、接続部の焼損、火災の原因となります。
- 調光機器は、必ず適合するLEDモジュール(LED照明器具)、直流電源装置と組合せて使用してください。LEDモジュール(LED照明器具)の破損や、短寿命、あるいは過電流による火災及び調光機器の故障の原因となります。

注意

- 電源電圧は、定格入力電圧の範囲で使用してください。LEDモジュールと直流電源装置(LED照明器具)の短寿命、不点灯、チラツキ、調光機器の故障、火災の原因となることがあります。
- 誤って落下させた調光機器は使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 屋外では使用しないでください。絶縁低下、漏電、感電、短寿命の原因となることがあります。
- 雨や水滴のかかる状態や湿度の高いところで使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、水や薬品がかからないよう注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。発煙、発火の原因となることがあります。
- 電線が調光機器の端子に触れないよう余裕をもたせてください。ケースの端部で絶縁被覆を傷つけ、絶縁破壊により漏電、感電の原因となることがあります。
- 電線の接続点や調光機器の口出線には張力を加えないでください。不点灯、漏電、感電、火災の原因となることがあります。
- 調光機器の樹脂部分に塗料などを塗らないでください。樹脂部分が劣化し、故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 8~10年経過した調光機器は、絶縁性能が低下していますので使用しないでください。そのまま使用しますと絶縁劣化が進行し、異常過熱、焼損、発煙、発火の原因となることがあります。調光機器の交換をおすすめします。
- この他、工事上の制約がありますので、調光機器の取り付けに際しては「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。

ご使用上の注意

- 負荷側の線は短絡しないで下さい。故障の原因となることがあります。
- 周囲温度は5℃~35℃の範囲で使用してください。不点灯、チラツキ、調光器の故障の原因となることがあります。
- 長時間消灯する際は、本体のスイッチでおこなってください。ロータリーツマミでは電源がOFFになりません。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 複数台を並べて取り付ける場合は、相互の熱影響を受けますので、プレート相互間の間隔をそれぞれ、上下方向 100mm 以上、左右方向 30mm 以上離してください。

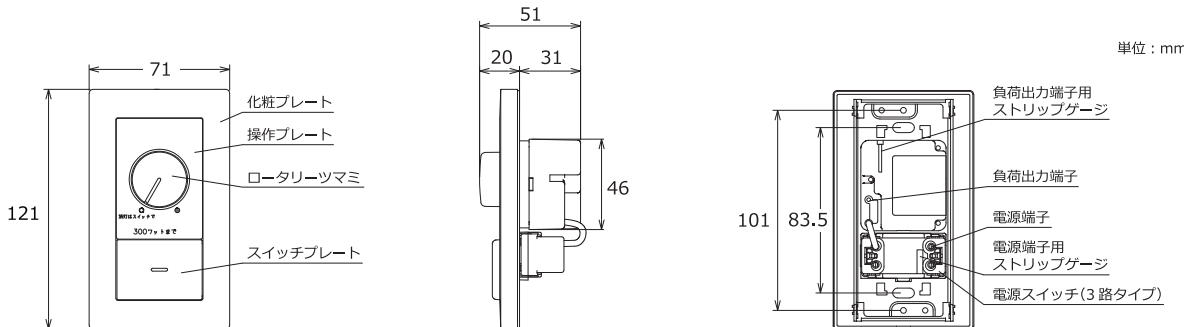
良好な調光動作のために

- 良好な調光動作を得るために以下の点にご留意の上、施工してください。
- 1) 電源は調光専用電源としてください。
動力用と兼用すると電圧変動の影響を受けやすく、また、音響用と兼用すると雑音(ノイズ)の影響を受け、照明負荷のチラツキや音響設備の雑音の原因となることがあります。また、同一電源に大容量の機器があると、高調波や電源歪みが発生し、照明負荷のチラツキの原因となることがあります。音響機器や大容量の機器とは、別電源(別相)にすることを推奨いたします。
 - 2) 白熱灯の電源は、別系統からとってください。チラツキの原因となることがあります。
 - 3) 電源方式(相)はN相を持った電源を使用してください。
調光可能な電源方式(相)・・・単相3線式/単相2線式
 - 4) 電源ケーブルは銅単線φ1.6mmまたはφ2.0mmを使用し、束ねたり、丸めたりしないでください。チラツキの原因となることがあります。

保守・点検

- 照明器具および関連部品(直流電源装置、ランプ、モジュール含む)には寿命があります。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度 30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1 解説による)
※LED光源は寿命がきても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社のホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

各部の名称と外形寸法



定格

形式	入力電圧 AC(V)	周波数 (Hz)	出力負荷	本体質量 (kg)	適合負荷	使用可能台数
BDC300GS	100	50/60	3Aまで	0.18	SCF-LED□□-ADB	6台まで
					SC3-LED□□-ADB	6台まで
					TRE2-□□-ADB	5台まで
					ELD2430HDB	6台まで
					PDD240DB + ELD2-2435FD	23セットまで
					PDD240DB + ELD2475F	11セットまで
					PDD240DB + ELD2-24240FD	3セットまで
PDD240DB + ELD24320FD	3セットまで					

● 適合負荷の詳細については各製品の取扱説明書をご参照ください。
● 適合負荷は2024年3月現在のものです。適合負荷については総合カタログ、納入仕様図面等をお合わせてご参照ください。
注意) 入力電圧 100V 以外では使用しないでください。

取付方法

1. スイッチボックスの埋め込み

BDC300GSを取り付けるためにスイッチボックス（1個用カバー付 JIS C8340）の組み合わせで壁に埋め込んでください。

2. 電源および器具への配線と結線

結線図にしたがって結線をおこなってください。

3. 本体の取り付け

操作プレートとスイッチプレートははずしてください。取付ねじ2本で本体ごと固定してください。

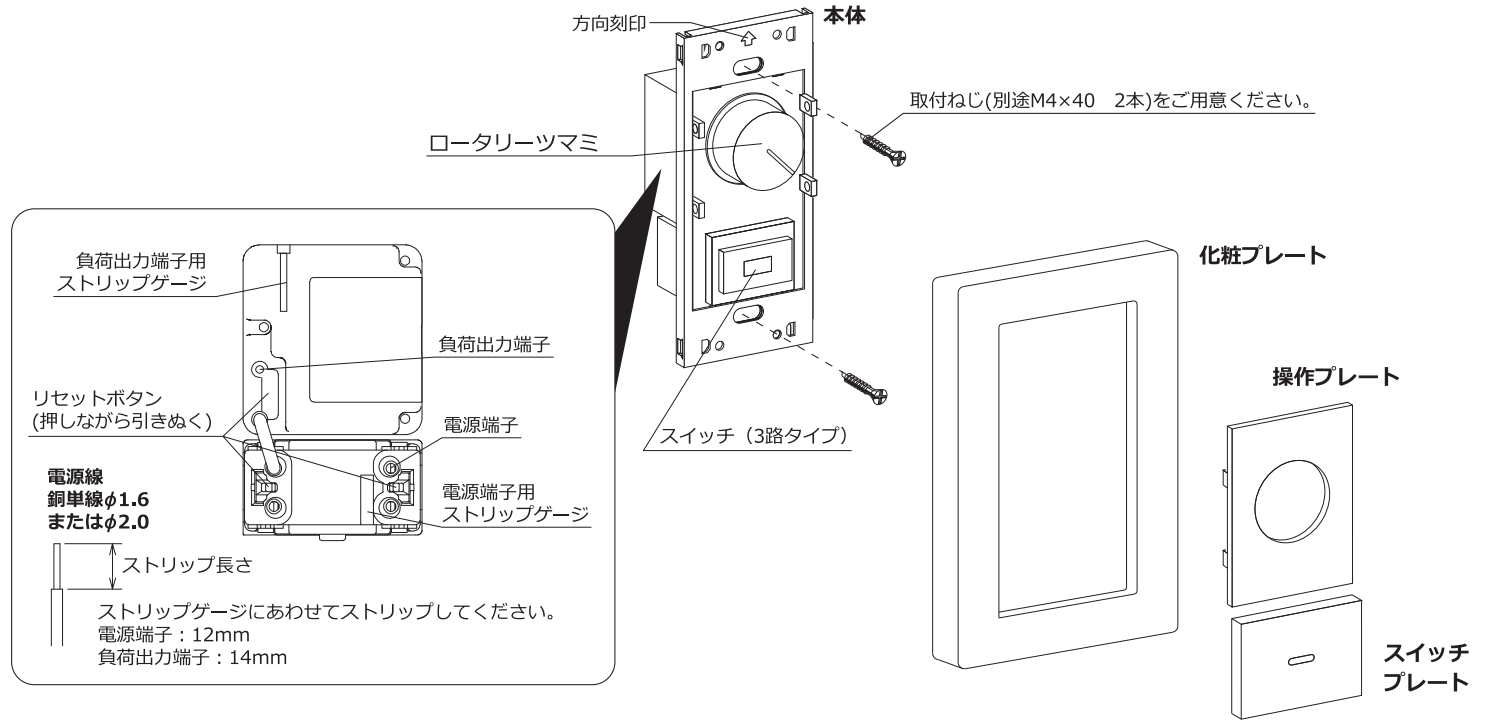
4. プレーートの取り付け

化粧プレート、操作プレート、スイッチプレートの順に本体へ取り付けてください。

5. 電源の供給

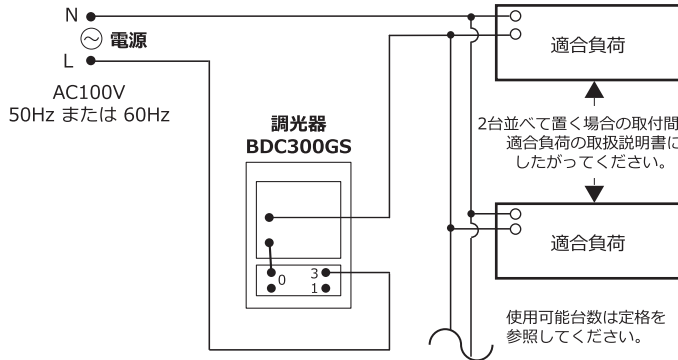
全ての作業が終わりましたら電源を入れ、LEDが点灯・調光することを確認してください。

【注意】調光器は入力電圧100V以外では使用しないでください。

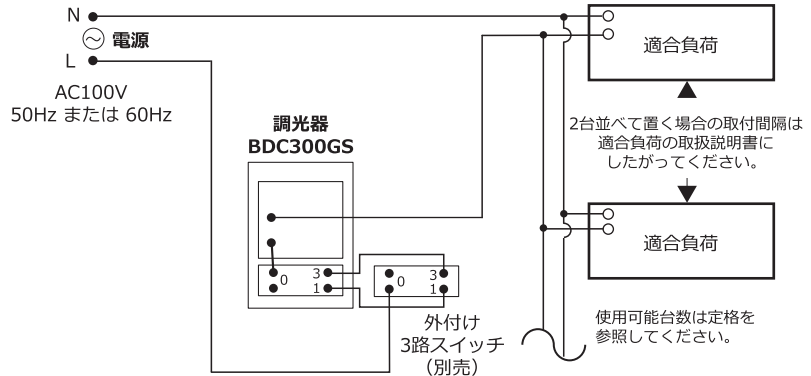


結線図

● 本体スイッチのみを使用する場合



● 3路スイッチ(別売)を使用する場合

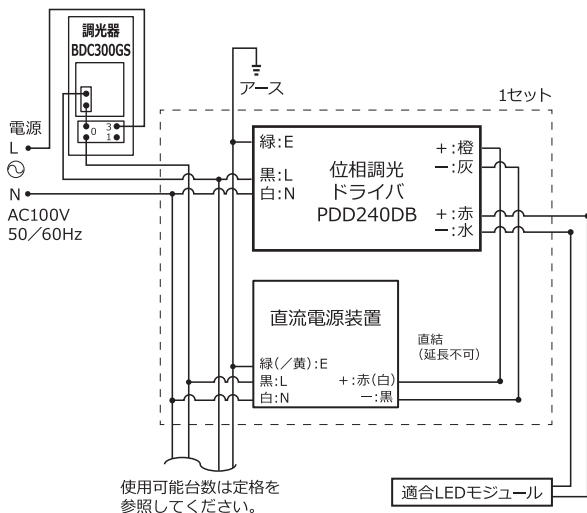


【注意】入力電圧100V以外では使用しないでください。

【注意】電源から調光器への配線および調光器から適合負荷への負荷出力配線には、銅単線φ1.6またはφ2.0を使用してください。

● 位相調光ドライバPDD240DB+直流電源装置を使用する場合

(直流電源装置：ELD2475F、ELD2-2435FD、ELD2-24240FD、ELD24320FD)

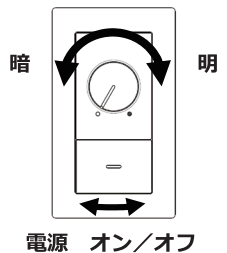


使用方法

- 電源スイッチをオンにしてから、ロータリーツマミを操作し、お好みの明るさに調整してください。
※明るさは負荷の接続台数によって異なります。調光器を2台以上でご使用の場合、同じサイズの照明器具でも明るさに差が生じます。
- 消灯する際は調光器本体の電源スイッチで消灯してください。負荷によってはロータリーツマミで消灯しない場合があります。
- 調光器に電源が供給されている場合、電源スイッチのパイロットランプは下記の状態を表しています。

パイロットランプ点灯（緑色）：電源スイッチオフ

パイロットランプ消灯：電源スイッチオン



《誤配線の場合は次の現象が発生しやすくなります。》

- ・調光できない。
- ・調光器・照明器具の故障。